

多賀町まち・ひと・しごと創生総合戦略 重要業績評価指標(KPI)検証シート

施策番号	施策名	重要業績評価指標(KPI)	担当課	H26年度値	H31年度目標値	H27年度実績値	H27年度取組内容	H28年度取組目標
1	多賀まちなか回遊プロジェクト	多賀大社・門前町滞在時間	産業環境課	37分	70分	—	「開運！近江の地獄めぐり」の実施により、門前町の散策を促し、滞在時間の延長を図れた。	従来の開運！近江の地獄めぐりの実施とともに、加速化交付金による多賀大社・胡宮神社・大滝神社等のライトアップ事業(イベント含む)を行い、昼夜通して滞在時間の延長を図る。
2	絵馬通りにぎわいプロジェクト	中心市街地新規出店数	産業環境課	3店舗	9店舗	4店舗	「がんばる商店応援補助事業」により、新規開業者の支援を行った(松宮書法館)。	多賀町がんばる商店補助により新規開業者を支援
3	多賀企業誘致プロジェクト	工業団地空き区画数	企画課	1区画	0区画	1区画	工業団地の空き区画(用地情報)を県企業誘致課と一緒に情報提供を行った。	工業団地の空き区画(用地情報)を県企業誘致課と一緒に情報提供を行う。
4	多賀農産物のブランド化プロジェクト	多賀ブランドの認定数	産業環境課	0件	4件	0件	特産物振興連絡協議会で検討を行った。ブランド化の実績に向けた取り組みとして「食味コンクール」を実施した。	特産物振興連絡協議会で検討。食味コンクールの開催
5	多賀の農業人育成プロジェクト	認定農業者の後継者数	産業環境課	4名	7名	4名	担い手後継者の情報交換会を行なった。	45歳までの認定農業者・後継者を対象に(仮称)後継者クラブを設立し、情報交換を行うとともに、新たな後継者を探す。
6	多賀の農林業・農山村の多面的機能を維持するための獣害対策プロジェクト	獣害による農産物被害額	産業環境課	3,045千円	2,170千円	3,104千円	獣害防止柵の維持管理を行っている団体への補助 ニホンジカ・イノシシ・サルなどの有害鳥獣の捕獲(猟友会への委託、囲い罠、檻など) 臨時職員によるサルの生息調査および追い払い活動 集落等に対して有害鳥獣の取組みと啓発	獣害防止柵の維持管理を行っている団体への補助 ニホンジカ・イノシシ・サルなどの有害鳥獣の捕獲(猟友会への委託、囲い罠、檻など) 臨時職員によるサルの生息調査および追い払い活動 集落等に対して有害鳥獣の取組みと啓発、追い払い活動の推進
7	100年先を見た森林資源循環利用プロジェクト	間伐実施面積	産業環境課	89ha	140ha	80ha	間伐に対して補助することにより、間伐の促進を図った。営林組合から森林組合が間伐を受託することにより、間伐面積を増やすことができた。	国や県の補助制度を活用しながら、同時に作業経費の縮減を促し、限られた事業費のなかで効果があげられるよう各事業者へ働きかける。
		木材生産量	産業環境課	1,149m3	3,440m3	2,555m3	間伐による木材生産を進めるため、関連する間伐補助制度により支援した。中央公民館に関連する木材生産を開始した。	木材の買取生産と作業の効率化を促すことにより、目的意識を持ってより多くの木材を搬出するよう各事業者へ働きかける。
8	高取山自然体験学習プロジェクト	高取山ふれあい公園の来園者数	産業環境課	15,500人	19,300人	14,100人	自然体験宿泊施設が竣工し、運用を開始した。町内外におけるイベント時に出店し、PR活動を実施した。	老朽化した施設や付属設備の改修・更新を図る。引き続きPR活動を実施し、来園者および宿泊客の増加を目指す。
9	民間事業者と連携した住宅地整備プロジェクト	新規宅地の区画数	企画課	0区画	累計80区画	0区画	市街化調整区域における地区計画制度を活用し、開発予定業者との打ち合わせを行い、開発許可申請に向けて準備を行った。	開発許可を得て、事業者により事業着手し造成工事を完了する。
10	多賀若者定住支援プロジェクト	0～40歳の定住者数(転入－転出)	企画課	-103人	0人	27人	町広報紙への掲載等により助成事業の周知を行った。21件の新規交付となった。	継続実施とし、制度の周知や町外向けの広報にも力を入れ、新規交付者の獲得に努める。
11	多賀空き家バンクプロジェクト	空き家バンクの成立数	企画課	0件	累積8件	累積1件	空き家バンク制度を再開。固定資産税納税通知書発送時にチラシを同封し、またHPや広報で空き家所有へのバンク登録の呼びかけた。空き家利用希望者についてはHPおよび広報での登録の呼びかけを行った。両者の登録を基に、マッチング・紹介を行い、1件成立、1件交渉中となった。	一部の自治会において、地域住民と協力して空き家所有者への空き家バンクの登録を促し、登録件数の増加を図り、制度の効率的・効率的な仕組みを構築する。行政・地域・民間団体の役割分担を明確にし、移住・定住人口の増加、空き家の減少を図る。また、町の魅力ある施策を盛り込んだ情報発信を行い、成立数の増加を図る。
12	多賀まるごとミュージアムプロジェクト	観光入込客数(多賀大社除く)	産業環境課	67千人	93千人	99千人	町内の集客施設のアピールを行い、観光入客の増加を図った。	従来の開運！近江の地獄めぐりの実施とともに、加速化交付金による多賀大社・胡宮神社・大滝神社等のライトアップ事業(イベント含む)を行い、広域的に観光入客数の増加を図る。
13	多賀、地域で子どもを育てるプロジェクト	年少人口(0～15歳)	教育総務課	1,008人	概ね1,000人	1,061人	特に年少人口減少が進んでいる中山間地集落において定住促進を図るため、地域住民へのヒアリングを行い必要な施策の洗い出しを行った。	大滝地区活性化プロジェクトを立ち上げ、総合的な対策を進めて行くためのアクションプランの作成を行う。また、現時点で存在する施策をまとめ、移住・定住に向けた情報発信を進める。
14	多賀教育プロジェクト	保護者による「学校評価」における学校の満足度	学校教育課	90%	94%	92%	保護者に対して、各園で学校便りを発行するなど学校教育目標をはじめ日々の教育活動について情報発信をし、理解を求めた。	昨年度の学校評価を生かしながら教育実践に努めるよう校長会・教頭園長補佐会等で促す。
		通学路の要対策個所対策度	地域整備課	6%	26%	29%	平成27年度は11箇所の危険箇所の点検を実施。なお、全24箇所のうち、7箇所については実施および一部実施済。	引き続き、多賀町通学路安全推進会議にて把握した危険箇所について関係機関と連携して、対策、効果の把握、改善・充実に努める。
15	大滝ならではの教育プロジェクト	大滝小学校児童数	学校教育課	77人	80人	65人	子育て世代の定住を図り、生徒数を維持するため、特色ある教育、保幼小の連携について検討を行った。	滋賀県立大学との協働による「多賀デザイン・カレッジ大滝キャンパス」により小学校を核とした特色ある教育環境づくりの実施・検討を行う。
16	これからの多賀を考えるプロジェクト	キラリとひかるまちづくり活動支援交付金事業の対象となるコミュニティ自主活動に取り組んだ集落数	企画課	35集落	39集落	39集落	地域での課題が多様化・複雑化する中、自治会の行う計画的かつ自主的な住民自治活動を支援し、地域コミュニティを活性化するため交付金の交付をおこなった。	事業開始から3年目となり、自治会の行う住民自治活動をさらに活性化するため、交付金制度の見直しを行う。
17	多賀暮らしの支え合いプロジェクト	住民福祉懇談会の開催数	福祉健康課	0回	8回	0回	地域での住民福祉懇談会的な活動を展開されている高島市社会福祉協議会に先進地視察に行き、高島市での取組みについて学んだ。	モデル字を「萱原」と決定し、福祉会の活動等から字の実態把握を行い、年内中には懇談会を開催し、安心して暮らせる萱原を実現するための仕組みや活動について検討する。
18	里づくりプロジェクト	地域住民による将来ビジョンの語り場の数	企画課	1箇所	3箇所	1箇所	モデル地域を設定し、対象自治会長に説明し準備を行った。	町民と行政が共に地域の存続・活性化に向けて協議する場を新たに1箇所設置する。
19	誰もが利用しやすい公共交通プロジェクト	バス・乗り合いタクシーの利用者数	企画課	169,833人	173,000人	184,617人	バスについては参天製薬(株)のチャーター便が廃止になったことにより、工業団地への直行便の改善を図り、利用者増加となった。愛のリタクシーについても、利用者は年々増加している。	バスについては、萱原・大君ヶ畑線の運行調査を行い、大滝地域の公共交通の見直しを図る。